

# 事務事業チェックシート

事務事業No 517 事業名 下水道管理事業（污水）

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	下水道		
	款	下水道事業費		
	項	下水道管理費		
	目	下水道管理費		
	大事業	下水道管理事業		
事項	下水道管理事業（污水）			

[長期総合計画]

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	3	住環境の整備
施策	4	生活排水対策の推進
基本方針	4	下水道事業・集落排水事業の適正管理

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束	橋梁、上下水道、BCP策定			

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	～		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	下水道管理課	堀口真也 (435-1096)	
関連課			

## 1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	事業内容				
	公共下水道区域に住む市民に対し、快適な住環境を提供する。	快適な住環境を維持するため、公共下水道の管渠等の適正な管理を行う。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		管渠延長498km マンホールポンプ18箇所	管渠延長506km マンホールポンプ18箇所	管渠延長519km マンホールポンプ25箇所	管渠延長 km マンホールポンプ 箇所	管渠延長 km マンホールポンプ 箇所

## 2 事業コスト

		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費等 千円	事業費	120,000	112,096	149,313	133,819	150,277	138,869	149,313		149,313		
	伸び率 (%)	-	-	24.4%		0.6%		-0.6%		0.0%		
	人件費	常勤職員	20,801	20,944	20,801	19,258	20,801	17,632	20,801		20,801	
		非常勤職員	1,206	804	1,206	1,404	1,206	1,377	1,206		1,206	
		小計	22,007	21,748	22,007	20,662	22,007	19,009	22,007		22,007	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他											
	一般財源（税等）	120,000	112,096	149,313	133,819	150,277	138,869	149,313		149,313		
所要人数	常勤職員	2.80	2.80	2.80	2.59	2.80	2.37	2.8		2.8		
	非常勤職員	0.57	0.38	0.57	0.71	0.57	0.38	0.57		0.57		
主な予算内訳		委託料22,402千円										

## 3 目標及び実績

	指標名及び達成状況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
			年度目標値	実績値	年度別達成度	全体目標値	全体目標達成度
活動指標	管渠延長	年度目標値					
		実績値	498	506	519		
	マンホールポンプ	年度目標値					
		実績値	18	18	25		
成果指標	生活に支障をきたす事故	年度目標値					
		実績値	23	38	24		
	人身事故件数	年度目標値					
		実績値	0	0	0		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	公共下水道の管渠等の適正な管理を行うことにより区域内の住民に対して健康的で快適な住環境を提供している。
「見直し」 「改善」案	